第２号様式（第７条、第９条第２項、第１０条第１項）

実施計画書（令和７年１月２１日版記載例）

１　活動理念・方針

※団体等が自然環境保育を行う理由や目指す姿などを記載してください

２　計画内容

（１）保育者の人数、児童の定員及び在籍数

自然環境保育に関わる保育者のうち、幼稚園教諭の免許、保育士の資格を有さない者
※保育補助者など

自然環境保育に関わる保育者の人数（申請時点で把握している全ての人数（非常勤職員、ボランティアスタッフを含む））を記載してください。
※地域の協力者で農業指導をする人物などは除く。

保育者の人数	有　資　格　者	10人	無　資　格　者※1	7人
	保育者合計	人		
	定員		定員	
	〕	40人	在籍者数	40人
	〕	40人	在籍者数	40人
	〔５歳児〕	40人	在籍者数	40人
定員数 在籍者数	※2〔異年齢児童合同〕	人 （　）歳児から （　）歳児まで		
	合計（定員）	120人	合計（在籍者数）	120人

※１　認可外保育施設及び施設を有さずに保育等を行っている団体等の無資格者は、県が団体等との関係やその者の保育等の経験等について確認し、保育等に従事する者として適当か個別に判断を行う

※２　年齢ごとの定員を定めておらず、常に異年齢合同で保育を実施している場合に記入

（２）開所日数、開所時間

開所日数 開所時間	※開所日（曜日毎）及び保育時間を記入 月曜日から土曜日 午前９時００分から午後４時３０分まで		
	（閉所する期間）	春季	月　日　～　月　日
		夏季	月　日　～　月　日
		冬季	月　日　～　月　日
		その他	

（３）保育等の内容

保育園教育程を踏まえ	☑はい □いいえ

申請時点において、継続的に自然環境保育を実施していることが必要です。
また、認証日以降は認証基準を満たしている必要があります。

（４）自然体験活動の時間（３歳以上のこども一人当たり）※２月に申請する場合（普及型）

	①申請日以前3か月間の実績		②申請日以降3か月間の計画	
自然体験活動	申請日の属する月の前月の活動		申請日の属する月の翌月の活動	
	1月	4時間／週	3月	5時間／週
	申請日の属する月の前々月の活動		申請日の属する月の翌々月の活動	
	12月	3時間／週	4月	5時間／週
	申請日の属する月の3か月前の活動		申請日の属する月の3か月後の活動	
	11月	3時間／週	5月	5時間／週

※　３歳以上のこども一人当たりにおける自然体験活動の時間数について、各月ごとの１週間当たりの平均時間数を記載すること。

（５）地域社会との連携

地域社会との連携	地域社会とどのような交流の機会を設けているか記載 〇地域住民から田や畑の提供を受け、活動に当たり、知識・作業方法等の助言を受けて、取組んでいる。 〇・・・を行い、地域住民を招いて、こどもと地域住民が交流する機会を設けている。 〇・・・・ 〇・・・・ 〇・・・・

（６）安全確保

屋外でこどもの体験活動を行う際の十分な安全管理に配慮するため、どのような保育者の配置体制になっているか、具体的に記載してください。	
保育者の配置人数（おおむねこども〇人につき、保育者〇人）、配置場所（移動の際は前後に保育者を配置、活動の際は、保育者全員で全てのこどもに目を配れるよう配置）などを具体的に記載してください。	
安全管理マニュアルの作成	☑あり □なし
安全管理マニュアルについて、保育者と保護者にどのように周知しているか記載 保育者に対しては、園内研修を通して周知するとともに、保護者に対しては、配布している。	
既存のマニュアルがある場合、既存のマニュアルに必要事項を追加いただく形で問題ありません（マニュアルとは別に別紙に記載でも可）。 然災害や不審者 ち	☑あり □なし
内容と、どのような形で保護者や保育者に共有し周知しているか記載 別添安全管理マニュアルのとおり定めるとともに、毎月実施する避難訓練を通して、保護者や保育者に共有、周知している。	
けがや事故へ迅速に対応するための医療機関、 消防署及び警察署への連絡方法 （事前に各機関へ協力要請を行っていること。）	☑あり □なし
連絡方法についてどのように定めているか、事前の協力要請の内容とあわせて記載 連絡方法は、別添安全管理マニュアルのとおり定めている。医療機関、消防署及び警察署に対して、自然体験活動を実施している旨年度当初に連絡済みである。	
けがや事故へ迅速に対応するための各保護者との複数の連絡方法（書面またはメール等）	☑あり（下記に記載） ・電話 ・チャットアプリ □なし
こども及び保育者の「傷害保険」への加入及び団体としての「損害賠償責任保険」への加入	☑加入済（証書(写)を添付） □未加入
年間計画（安全計画）の作成 記載例は県ホームページに掲載してあります。	☑あり □なし

（７）個人情報等の保護

職員及び職員であった者が業務上において知り得たこども及び保護者の個人情報等を漏らすことがないようにするための必要な措置	☑あり □なし

自然体験活動時における１クラス当たりの標準的な保育者の配置を記載してください。

（８）自然体験活動における保育者の配置

		配置保育者		
利用児童数		３歳：２０人	４歳：２０人	５歳：２０人
保育者	有資格者	２人	２人	２人
	無資格者	１人	１人	１人
	合　計	３人	３人	３人

異年齢児童合同保育の場合は、有資格者欄、無資格者欄、合計欄について、それぞれセルを結合し１つにまとめて記載してください。

（９）研修等（質の担保）

保育士　○○○○など常勤の保育者の職名・氏名を記載してください（下段も同様）。

県が開催す　　参加予定）常勤の保育者の配置

参加年月日、参加者職　名、勤務形態（常勤・非常勤）を記載

○年○月○日　保育士　○○　○○　常勤

※安全管理研修については、県で確認ができるため、添付書類不要

自然環境保育を行う上で有効であ　　対外的な事例発表等を行った常勤の保育者の配置　※重点型のみ

普及型の場合は、斜線としてください。

研修等の名称、内容、参加年月日、参加者職・氏名、勤務形態（常勤・非常勤）等の概要を記載

○○研修会　○○を目的とした研修会　○年○月○日　保育士　○○　○○　常勤

自然環境保育を行う上で有効であると考えられる内部研修の実施

研修の内容、時期等の概要を記載

安全管理研修の共有　○年○月○日

○○（技術向上）を目的とした研修会　○年○月○日（実施予定）

安全管理に関する研修や、外部研修を受講した者が、同僚の保育者に内容を伝達する場合や、安全管理に限らず自然保育について知見を深めるような内容についてミーティングを行ったり、経験豊富な保育者が同僚の保育者を対象に研修を行ったりすることなどを想定しています。

※申請に当たっては、いずれかの内部研修を１つ実施していれば問題ありません。

安全確保に関する講習の受講

受講年月日、受講講習名、受講者職・氏名、勤務形態（常勤・非常勤）を記

○年○月○日　上級救命講習　保育士　○○　○○　常勤

受講人数（区分ごとに対象となるいずれかの研修）

重点型：保育者２人以上が受講（うち１人以上は常勤）

普及型：保育者１人以上が受講（常勤）

（１０）小学校との連携

在籍するこどもごとの記録の作成及び在籍するこどもの就学に伴う小

☑あり

園庭での活動など特定の活動のみ記載するのではなく、団体等が行う活動を幅広く記載してください。
※園庭での活動、屋内での活動、近所の公園、森林、川など園外での活動など

ありのままの自分を肯定する気持ち、他者を信頼する気持ち、自然を大切にする気持ちを育み、自ら考え、行動し、成長しようためなどのように個別の活動目的ではなく、全体的な自然環境保育の目的を記載し、活動内容を列挙して記載した場合には補正対象となります。
記載内容が不十分な場合、記載内容の補正を求めたり、認証を行うことができない可能性があります。
できるだけ幅広く記載してください。
目安として、季節ごとに普及型は２例程度、重点型は４例程度以上の目的、内容を記載してください。

（１１）自然環境保育の目的、内容

※　どのような目的をもってどのような活
※　実践している自然環境保育の内容を記載
※　季節毎・フィールド毎に、 活動内容の概
※　自然環境保育に関する年間計画がある場合は、「添付のとおり」でも可

活動内容・目的の計画を記載する欄のため、各季節の過去の活動記録は不可です。

※　あくまで例示ですが、以下のような内容を記載してください。

【春】

・　園外の畑

　地域交流のため、地域の協力を得て、畑を借り、育て方についてアドバイスを受けて、種まきや水やりなど野菜（じゃがいも、さやえんどうなど）を育てる。その際、育てる野菜などはこどもたちが図鑑などで調べた上で保育者と相談して決める。野菜を育てることや観察を通じて、生き物の成長について気づき、なぜ大きくなるのかなどこどもが自ら考えるきっかけを作る。
　さらに、食べ物の大切さを知るなどこどもの食育のため、自ら育てた野菜を保育者と共に調理し、食べる。

・　園庭

　びわ、梅など園庭に実る果実を採取することを通して、季節ごとに育つ植物が異なることを知る。
　また、図鑑などで園庭の植物はどのような植物なのか、果実はどのように調理ができるのかなどを調べることでこどもたちがどのように果実を取り扱うのか話し合って決める。
　高いところに実る果実の採取に当たっては、保育者が採取するのではなく、どのようにしたら採取できるのか保育者の投げかけにより、こどもたちが自ら考えたり、友達と協力し合って採取する。

・　園庭、近隣の公園

　季節により育つ植物の違いや植物の成長の過程を知るため、春に咲いている花や実をつけている草木を観察したり、採取する。また、採取した花などで色水を作り、色と触れる。
　さらに、春になると現れる蝶やテントウムシを観察することや捕まえることを通して、季節により活動する昆虫が異なるなど昆虫の生態や生き物の命の大切さを知る。

どのような目的をもって、いつ、どこで、どのような活動をするのか具体的に記載してください。
これらの記載はあくまで記載例ですのでそのまま転写して申請はしないでください。

【夏】

・　近隣の川、園庭

川や井戸水を活用した水遊びを通して水に親しむ。夏でも水が冷たいのはなぜなのか、川の水はなぜ流れるのかなど水と触れることを通して、こどもたちが考えるきっかけを作る。

・　園庭、近隣の公園

カブトムシ、セミ、トンボなど夏の昆虫探し、採取を行い、春とは現れる昆虫が異なることを知り、図鑑で昆虫を調べたり、なぜ春とは違う昆虫が現れるのか考えるきっかけとする。また、採取した昆虫を飼育することで生き物を育てる喜び・楽しさ、命の大切さを知る。

また、屋外での活動を通して、夏の日でも晴れの日と雨の日では暑さや湿度が違うこと、日向と木などの日陰では暑さが異なることを知る。

・　園舎内

台風や気温が高く屋外での活動が危険な日には、昆虫や植物などの自らが興味のある自然環境保育に関する図鑑、絵本を読む。これらの活動を通じて、自然への興味、外での活動への関心へとつなげる。

また、気になることは自ら調べてみる、気になることに没頭するなど自発的・継続的な行動のきっかけとする。

【秋】

・　園外の畑

春に苗を植え、秋にサツマイモ収穫体験を行う。水や肥料を与えるなど苗を育てることでサツマイモができることを知り、自分で育てた植物への愛着や、育てることの大変さを知る。他にも人参、大根、南瓜などの野菜も育て、収穫をする。畑での活動を通じて旬の野菜を知ったり、雑草取りや水やりなどが植物を育てるためには手間が必要なこと知る。

・　園庭

秋になると発生する落葉を集めて、焚火を行う。子どもたちが保育者の火起こしの様子を見て、焚火に当たり、火の温かさを知る。

また、焚火の際に、畑で育てたサツマイモで焼き芋を行いみんなで食べることで、食べ物の大切さを知るなどこどもの食育も行う。

このように、火は暖を取ったり、調理に使えるなど便利である一方で、燃えると火事につながる、近づくとやけどの危険があるなど火の危険さや、周りに燃えるものを置かない、予防のため水を用意しておくことなど取扱いには注意が必要なことを知る。

・　近隣の公園（林）

落葉や木の実を使ったおままごと、落葉プール、落葉のかけあいなどを通して、創造力を働かせた遊び、全身を使った遊びをするとともに、落葉の感触や温もりを感じる。

また、これらの遊びを通じて、春は葉が緑色であり、落葉があまりないが、秋になると色づき、落葉が多くなるなど季節による変化が植物に起こることなどを知る。

【冬】

・　園庭、近隣の公園

　冬になると気温が下がることで、夏よりも水が冷たくなり、日によって、氷や霜柱ができることに気が付く。そして、氷や霜柱を観察したり、手で触れたり、足で踏んでみたりして冷たさや感触を楽しむ。

　このことを通して、季節ごとの自然の変化を知るとともに、なぜ氷や霜柱が冬にはできるのか、気温が上がったら、どうなるのかなどを想像する。

・　園庭

　切り干し大根、味噌などの保存食づくりを行う。

　秋に収穫した大根を使って、切り干し大根を作る。食材は、生で食べたり、煮たりする以外にも干す方法があることを知る。また、水分が抜けて、切り干し大根になっていく過程を観察する。

　畑で収穫した大豆を使った味噌づくりを通して、味噌は大豆からできていること、味噌ができるまでには時間がかかることなどを実体験により知る。また、大豆から味噌以外にも醤油や豆腐ができることも知る。このような実体験を通して、日本の古来からの食文化に触れるとともに、食べ物を大切にするなどの食育を行う。

・　園舎内、園庭

　冬至にかぼちゃを食べたり、臼と杵を使って、餅をついたり、雑煮・凧揚げなどの正月の行事を行う、七草粥を食べるなど季節ごとの伝統的な行事を体験・楽しむことで日本の伝統的な文化に触れ、文化に親しむ気持ちを育む。

【年間】

年間を通じて行う活動の場合は、【年間】欄を設けて記載してください。

・　園庭

　泥遊びや穴掘りなどを通して、場所、天気、季節によって砂の感触が異なることを知る。また、集中して物事に取り組み、成し遂げた時の達成感や喜びなどを感じるきっかけとする。

・　園舎内

　近隣の公園や園庭で採取した雑草、花、落葉、木の実などを使って、リース、コマ、貼り絵、押し花などの工作物をそれぞれのこどもが創造力を働かせて、好きなものを作成する。このことを通して、自然に親しむとともに、自ら考え、行動することや、粘り強く取り組むこと、完成したときの達成感などを感じるきっかけとする。

・　園庭

　園舎の周りでプランターを使って、季節ごとに花（スミレ、チューリップ、コスモス、ビオラ、ラベンダー、ローズマリーなど）や野菜（キュウリ、ミニトマト、ナス、イチゴ）を身近で育て、観察や収穫をすることにより、植物を育てる楽しさ、植物（自然）への親しみなどをこどもたちが感じられるようにする。

・　園舎、園庭

　園舎内の水槽によりカメやメダカを飼育し、園舎外の飼育小屋でニワトリを飼育することにより、動物への餌やりなどの世話を通して日々動物と触れることで、動物を大切にしようとする気持ちを育む。また、図鑑で動物を調べることでどのような餌がよいのか、世話のためには何が必要なのか自ら考えたり、友達と協力して世話をすることにより、達成感や協力する大切さなどを知る。

別紙（第２号様式）

実施計画書添付書類一覧

	添付書		添付の確認
計画内容（２）「開所日数、開所時間」			
1	**自然環境保育に関わる保育者の** **等）、勤務形態（常勤・専従等）** ※　無資格の保育者については、その者の団体等との関係（直接雇用、派遣など）、保育等の経験年数、名簿欄外に「無資格者は有資格者の指揮の下で活動する」旨を記載すること	施設を有さずに保育等を行っている団体等	☑添付有 □該当無
2	**直近の認可外保育施設運営状況報告書の写し** ※　認可外保育施設運営状況報告書に添付した書類も提出すること	認可外保育施設	□添付有 ☑該当無
3	**認可外保育施設運営状況報告書に準じた書類の写し** ・　保育等の時間、休業日等が記載された書類（管理運営規程など） ・　日々の保育者数が分かる資料（月間勤務予定表、シフト表など） ・　団体等の代表者及び保育等の責任者が分かるもの（定款、規則、規約など） ・　有資格者の職員について、資格を証する書類（保育士登録証など）の写し ・　保育者の研修修了証の写し ・　決算関係書類の写し（申請日の属する年度の前年度及び前々年度の財務諸表、収支計算書など） ※　団体等の設置者が法人の場合で、申請する団体等に限った決算関係書類がない場合は、当該法人の決算書類の写しで可	施設を有さずに保育等を行っている団体等	☑添付有 □該当無
計画内容（３）「保育等の内容」関係			
1	**保育等の事業内容が分かるもの** ・　保育等の事業の周知のために配布しているパンフレットや募集要項等の説明資料、ホームページ等の広報媒体における保育等の事業内容がわかる資料など	認可外保育施設 及び 施設を有さずに保育等を行っている団体等	☑添付有 □該当無
2	**保育の計画に関するもの** ・　申請団体等における保育の基本的な方針や、見通しをもって保育を行っていることが分かるもの（全体的な計画（教育課程又は保育課程）など） ・　保育の記録の様式		☑添付有 □該当無
計画内容（４）「自然体験活動の時間」関係			
1	**園庭** ・	で自然体験 を実施する 団体等	□添付有 ☑該当無
2	**園庭以外の外部フィールドの概要（名称、位置）、図面及び写真** ・　外部フィールドの全体図 ・　外部フィールドの付近の見取図（目標となる地物が記載されている縮尺のもの）	すべての団体等	☑添付有

無資格の保育者がいる場合に限り必要となります。
※記載漏れがあると補正の対象となるため、忘れずに記載してください。

原則として、園庭以外の外部フィールドでの活動が必要となります。
年間を通じて継続的に使用する外部フィールドが提出の対象です。

外部フィールドの全体図とは、園舎と外部フィールドの位置関係がわかる地図（目安として 10,000 分の１程度）。
外部フィールドの付近の見取図とは、外部フィールドの範囲がわかる地図（目安として 2,000 分の１程度）。（目安として 2,000 分の１程度）。

	添付書類	該当団体等	添付の確認
計画内容（6）「安全確保」関係			
1	**安全計画** ※　学校保健安全 画」、児童福祉 令第６３号）（ る。 ※　令和６年４月		☑添付有 □該当無
2	**安全管理マニュアル等** ※　以下の項目が記載されていることが必要（該当箇所をマーカー等で明示すること） ・　自然体験活動に係る団体等の職員及び保育者等全体の役割分担 ・　自然体験活動における事故予防対策の内容（外部フィールドについては移動経路の図面（危険箇所を明示したもの）を添付）、各活動場所におけるこどもの活動範囲及び危険箇所を明示した図面、各活動場所の遊具等設備の状況、各活動場所又は各活動において年齢別、発達別に特に考慮すべき事項） ・　保育者の自然体験活動に関する資格や研修受講履歴	すべての団体等	☑添付有
3	**こども及び保育者が加入している傷害保険証書の写し** ※　公務員及びみなし公務員を除く		☑添付有
4	**団体等が加入している賠償責任保険証書の写し**	国、地方公共団体、国立大学法人の団体	☑添付有 □該当無
計画内容（7）「個人情報」関係			
1	**個人情報等の取扱いに関して必要な措置を講じていることが分かるもの** ・内規、宣誓書、就業規則の写しなど	認可外保育施設及び施設を有さずに保育等を行っている団体等	☑添付有 □該当無
計画内容（9）「研修等」関係			
1	**外部研修等の概要・受講したことが分かる資料の写し**	重点型の認証を受けようとする団体等	☑添付有 □該当無
2	**内部研修の概要・実施したことが分かる資料の写し**	すべての団体等	☑添付有
3	**安全確保に関する講習を受講したことが分かる資料の写し**		☑添付有

※必

各項目の具体的な記載事項は、千葉県自然環境保育認証制度に係るQ&Aを参照してください。
該当箇所をマーカー等でお示しください。
記載がない場合、再提出いただきます。

計画内容（9）「研修等」関係において、資格や研修受講の記載・資料の添付がある場合は、安全管理マニュアル等においては、記載の省略が可能です。

計画内容（4）「自然体験活動の時間」関係の添付書類のうち、外部フィールドの全体図、外部フィールドの付近の見取図に当該記載があれば、安全管理マニュアル等においては、記載の省略が可能です。

労働保険をもって保育者の傷害保険には加入しているとして構いません。その場合は労働保険に加入していることがわかる資料の写しの提出が必要です。

書類の添付がない場合、補正の対象となりますので御注意ください。

安全確保に関する講習を受講し、認証申請時に有効期限内の修了証等の写しの提出が必要となります。